

平成29年度 事業別予算概要

事業名	95100	スポーツ推進事業費	会計	1 一般会計	基本分野	3 教育・文化	根拠計画	第2期高山市教育振興基本計画	市長公約 高地トレーニングエリアの整備も含め、市民の皆さんが心身ともに健やかに暮らせるようにスポーツ文化の振興に努めます
			款	9 教育費	個別分野	3 スポーツ	実施計画事業	スポーツ推進事業	
担当課	市民活動部	スポーツ推進課	項	5 保健体育費	施策の概要	1 スポーツ活動の充実	H29実施計画額	16,300 千円	
		内線 2357	目	1 体育総務費					

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・スポーツ教室やスポーツ大会の開催や全国レベルの大会をはじめ各種大会の誘致により、市民がスポーツにふれあい、取り組みきっかけを創出する。スポーツ活動を通じて、青少年の健全な育成を図る ・有名選手とのふれあいにより、子どもたちに夢を与え、スポーツに取り組みきっかけづくりを行う ・全国から集う選手に高山の魅力を発信するとともに、交流を促進し地域の活性化を推進する ・第2期高山市教育振興基本計画の着実な推進を図る	概要	事業の実施手法(手段)	・スポーツ教室やスポーツ大会等の開催 ・子ども夢創造事業の実施 ・スポーツ推進委員の活動促進 ・スポーツ少年団に対する支援 ・飛騨高山社会人野球大会等の開催支援
	対象者数	90,024 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H27の実績	<ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ大会や教室の実施・FC岐阜及び飛騨高山ブラックブルズ岐阜との連携事業の実施 子ども夢創造事業の実施(卓球)・スポーツ少年団活動への支援 飛騨高山社会人野球大会開催への支援・全国大会等出場者への激励 									
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		大会や教室の開催回数		回	目標値	100	100	100	100	100
		算出根拠等			実績値	122	-	-	-	-
					達成率(%)	122	-	-	-	-
		全国大会等出場者数(激励)		人	目標値	250	250	250	250	250
		算出根拠等			実績値	270	-	-	-	-
	成果指標				達成率(%)	108	-	-	-	-
					目標値					
					実績値					
		算出根拠等			達成率(%)					
		大会や教室の参加者数(のべ人数)		人	目標値	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000
		算出根拠等			実績値	12,161	-	-	-	-
			達成率(%)	94	-	-	-	-		
スポーツ推進委員会開催のイベント参加者数(のべ人数)		人	目標値	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000		
算出根拠等			実績値	9,797	-	-	-	-		
			達成率(%)	98	-	-	-	-		
スポーツ少年団の団員数		人	目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500		
算出根拠等			実績値	1,272	-	-	-	-		
			達成率(%)	85	-	-	-	-		

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 費用対効果を考え、集客手法やPRの工夫などについて検討する必要がある。 スポーツ推進委員と地域スポーツ活動との関わり方の充実を図る必要がある。 スポーツ少年団加入の団員数は少子化の影響を受け、今後、維持するのが困難になるため、未加入クラブの加入促進が必要である。
-----------------	---

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH28対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 維持・改善 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室等事業や子ども夢創造事業等の参加促進をヒップFM、ケーブルテレビ、ホームページ等をより積極的に活用しPR強化に努める。 ・まちづくり協議会とスポーツ推進委員との関わり方について検討していく。 ・スポーツ少年団活動の維持のため、未加入クラブの加入促進を支援していく。 拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズに合ったスポーツ教室等の開催、全国規模の大会誘致について検討していく。 ・スポーツ推進委員活動を継続実施することにより、健康増進のためのスポーツ機会を創出する。 ・スポーツ活動を通じて、青少年の健全な育成を図る。 縮小 廃止検討
----------------	--

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 15,454	16,580	18,477	26,982
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 1,687	182	205	300
	受益者	市民(4月1日現在)	(B) 91,605	90,938	90,024

5 予算編成 (Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室等の実施 ・「FC岐阜」及び「飛騨高山ブラックブルズ岐阜」との連携事業の実施 ・子ども夢創造事業の実施 ・全国大会出場選手への激励金の交付 ・スポーツ少年団等に対する支援 ・全国高等学校総合体育大会(スキー競技)の実施 ・全国高等学校総合体育大会(アーチェリー競技)の準備 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室やスポーツイベントの開催など、幅広いスポーツ活動に要する経費を計上 ・全国高等学校総合体育大会開催に要する経費を計上 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢層別など市民ニーズを的確に把握・分析し、それに対応したスポーツ施策を進める必要がある。
------	---	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	18,477	26,982	8,505	26,777	26,777	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	168	134	△ 34	106	106		
一般財源	18,309	26,848	8,539	26,671	26,671		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	95200	体育施設管理事業費	会計	1	一般会計	基本分野	3	教育・文化	概観計画	第2期高山市教育振興基本計画	市長公約 高地トレーニングエリアの整備も含め、市民の皆さんが心身ともに健やかに暮らせるようにスポーツ文化の振興に努めます
			款	9	教育費	個別分野	3	スポーツ	実施計画事業	体育施設管理事業	
担当課	市民活動部	スポーツ推進課	項	5	保健体育費	施策の概要	2	スポーツ施設の整備	H29実施計画額	214,000 千円	
		内線	目	2	体育施設費						

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> ・体育施設を適正に維持管理・運営することにより、市民の利用を促進する。 ・地域の社会体育事業を促進するため、夜間におけるスポーツ活動環境を整備する。 ・誰もが安全で快適に利用できるスポーツ環境を整備する。 	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者による施設の維持管理 ・小中学校グラウンドの夜間照明施設の維持管理 ・施設の改修整備
	対象者数	90,024 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H27の実績		<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者による施設の維持管理 ・小中学校グラウンドの夜間照明施設の維持管理 ・飛騨高山ビッグアリーナ駐車場増設工事 ・施設管理事務 								
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
					目標値					
					実績値		-	-	-	-
		算出根拠等			達成率(%)		-	-	-	-
					目標値					
					実績値		-	-	-	-
	算出根拠等			達成率(%)		-	-	-	-	
	成果指標	スポーツ施設利用者数			目標値	550,000	550,000	550,000	550,000	550,000
					実績値	524,792	-	-	-	-
		算出根拠等			達成率(%)	95	-	-	-	-
		夜間照明施設利用者数			目標値	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000
					実績値	25,015	-	-	-	-
算出根拠等			達成率(%)	71	-	-	-	-		

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・類似した施設や利用度の低い施設の統廃合について検討する必要がある。 ・夜間照明の利用期間拡大(4月・12月)について検討する必要がある。 ・施設の老朽化に対応した維持管理を検討する必要がある。 ・施設の利便性の向上や安全性の確保に向け、計画的に改修整備を行う必要がある。 ・コスト削減を図りながら、施設を適正に管理する必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH28対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の状況分析や利用者意見を反映した施設管理の改善・充実を図る。 ・コスト削減を図りながら、施設を適正に管理する。 ・適正な施設整備計画を策定する。 	
課の考えの担当	○維持・改善	
	拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・類似した施設や利用度の低い施設の統廃合を視野に入れ、施設のあり方を検討する。
	縮小	<ul style="list-style-type: none"> ・施設のより一層の利用促進を図る(利用期間の拡大等の検討) ・施設整備計画に基づき改修整備を行う。
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	181,414	197,363	262,902	235,584	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,980	2,170	2,920	2,617	
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	91,605	90,938	90,024	90,024

5 予算編成 (Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度による施設の維持管理等 ・小中学校グラウンドの夜間照明施設の維持管理 ・体育施設の改修整備 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して快適に利用できるスポーツ施設の提供 ・体育施設整備に向けた調査 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・体育施設の統廃合の検討
------	---	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		262,902	235,584	△ 27,318	214,202	214,202	積算内容を精査 ・体育施設整備に向けた調査に要する経費を計上	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	1,500	1,200	△ 300	5,500	5,500		
	一般財源	261,402	234,384	△ 27,018	208,702	208,702		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	95210	高地トレーニング強化拠点施設活用事業費	会計	1	一般会計	基本分野	3	教育・文化	根拠計画	第2期高山市教育振興基本計画	市長公約 高地トレーニングエリアの整備も含め、市民の皆さんが心身ともに健やかに暮らせるようにスポーツ文化の振興に努めます
			款	9	教育費	個別分野	3	スポーツ	実施計画事業	高地トレーニング強化拠点施設活用事業	
担当課		市民活動部 スポーツ推進課	項	5	保健体育費	施策の概要	3	高地トレーニングエリアの整備	H29実施計画額	65,000 千円	
		内線 2357	目	2	体育施設費						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	ナショナルトレーニングセンター強化拠点施設の指定を踏まえ、医科学サポート事業をはじめとするトレーニング環境を整備し、スポーツ振興と地域の活性化を促進する。	概要	事業の実施手法(手段)	・高地トレーニング強化拠点施設活用事業の実施(県委託事業) ・飛騨高山御嶽トレーニングセンターの維持管理 ・飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアへの合宿誘致活動
	対象者数	90,024 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績		<ul style="list-style-type: none"> ・高地トレーニング強化拠点施設活用事業の実施(国委託事業) ・飛騨高山御嶽トレーニングセンターの維持管理 ・飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアへの合宿誘致活動 ・日和田ハイランド陸上競技場6レーン化工事 ・日和田ハイランド陸上競技場トイレの新築 								
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		高地トレーニングエリアの利用者数		人	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
					実績値	17,431	-	-	-	-
		算出根拠等			達成率(%)	87	-	-	-	-
					目標値					
					実績値					
	成果指標	算出根拠等			達成率(%)	-	-	-	-	-
					目標値					
					実績値					
		算出根拠等			達成率(%)	-	-	-	-	-
					目標値					
					実績値					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・2020東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、高地トレーニング環境の更なる整備と利用促進を図る必要があり、高地トレーニングエリア構想を策定する必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨御嶽高原高地トレーニングエリア整備活用構想(仮称)の策定 ・高地トレーニングエリア環境の整備と利用促進 ・国や県、オリンピック委員会、日本陸連との連携強化 	
次年度の担当	維持・改善	
	○ 拡大	・高地トレーニングエリア整備活用構想(仮称)を策定し、スポーツ(アスリート)のみならず、登山者・観光客等の利用促進も含めた、地域の活性化に取り組む。
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	35,639	67,221	21,934	100,056	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	389	739	244	1,111	
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	91,605	90,938	90,024	90,024

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高地トレーニング強化拠点施設活用事業の実施(県委託事業) ・飛騨高山御嶽トレーニングセンターの維持管理 ・飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアの利用促進 ・合宿、誘致活動 	要求のポイント	・高地トレーニング環境の充実と利用促進	事業実施の課題	・2020東京オリンピック・パラリンピックやアジア大会などを目標に訪れるアスリートの多種多様な要望に臨機応変に答えられるような受け入れ体制づくりが求められる
------	--	---------	---------------------	---------	--

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	21,934	100,056	78,122	20,734	20,734	積算内容を精査	財務部査定のとおり
	国庫支出金	12,000	6,821	△ 5,179				
	県支出金			0	3,000	3,000		
	その他	1,850	1,432	△ 418	1,850	1,850		
	一般財源	8,084	91,803	83,719	15,884	15,884		